



平成 24 年 3 月 29 日

各 位

上場会社名 株式会社トマト銀行
代表者名 取締役社長 中川 隆進
(コード番号 8542 東証・大証第1部)
問合せ先
責任者役職名 経営企画部長
氏 名 谷口 善昭
T E L (086)-221-1010

新中期経営計画「トマト MOTTO³ プラン」の策定について

株式会社トマト銀行(取締役社長 中川 隆進)は、平成24年4月から平成27年3月までの3ヵ年を計画期間とする新中期経営計画を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 計画の策定にあたって

当社は、平成21年4月から3ヵ年の第2次中期経営計画「トマト MOTTO² プラン」を進め、一定の成果をあげることができました。また、トマト MOTTO² プランの最終年度にあたる今年度には記念すべき創立80周年を迎えることができました。

平成24年度は、80年の歴史と伝統を礎に、次の大きな節目である100周年にむけての新たなスタートの年となります。このような年に第3次中期経営計画「トマト MOTTO³ プラン」を策定し、新たな歴史の一步を力強く踏み出すものです。

2. 名称

<第3次中期経営計画「トマト MOTTO³ プラン」>

新中期経営計画では、トマト MOTTO プラン、トマト MOTTO² プランを継承するとともに、さらに変革を進め、地域で MOTTO も身近で信頼され選ばれ続ける「じぎん(地元の銀行)」を目指そうという思いを MOTTO³と表現いたしました。

3. 計画期間

平成24年4月～平成27年3月(3ヵ年)

4. 重点目標

- 「二大変革」
 - (1)お客さまサービス改革
 - (2)営業力パワーアップ
- 地域経済・社会への貢献

※詳細につきましては別添資料をご参照ください。

以上

新中期経営計画「トマト MOTTO³ プラン」の策定について

株式会社トマト銀行(取締役社長 中川 隆進)は、平成24年4月から平成27年3月までの3カ年を計画期間とする新中期経営計画を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 新中期経営計画の概要
2. MOTTO から MOTTO² さらに MOTTO³ へ
3. 重点目標・重点施策について
4. 「二大変革」について
5. トマト MOTTO³ プランの遂行による当社の変革・成長ストーリー

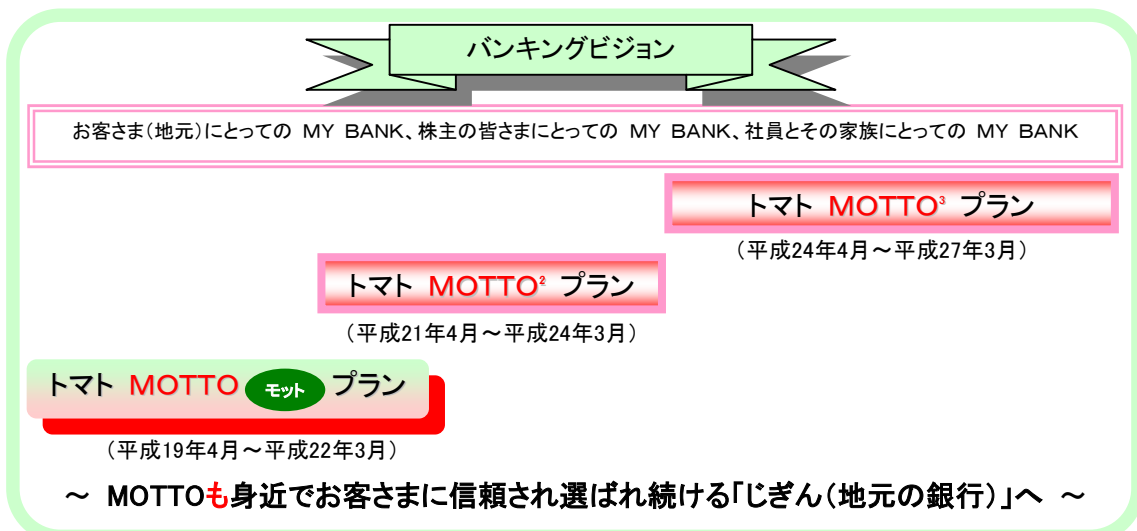
本件に関するお問い合わせ先	経営企画部 谷口	TEL 086-221-1154
報道関係のお問い合わせ先	経営企画部(広報担当) 藤岡・齋藤	TEL 086-221-1057

1. 新中期経営計画の概要

名 称	第3次中期経営計画「トマト MOTTO ³ プラン」
計 画 期 間	平成24年4月～平成27年3月(3カ年)
位 置 づ け	平成23年11月に創立80周年を迎え、歴史と伝統を礎に平成24年度から3カ年の第3次中期経営計画「トマト MOTTO ³ プラン」をスタートし、100周年にむけての新たな歴史の一步を力強く踏み出すものです。
重 点 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 二大変革 <ol style="list-style-type: none"> 1. お客さまサービス改革 2. 営業力パワーアップ ➢ 地域経済・社会への貢献

2. MOTTO から MOTTO² さらに MOTTO³ へ

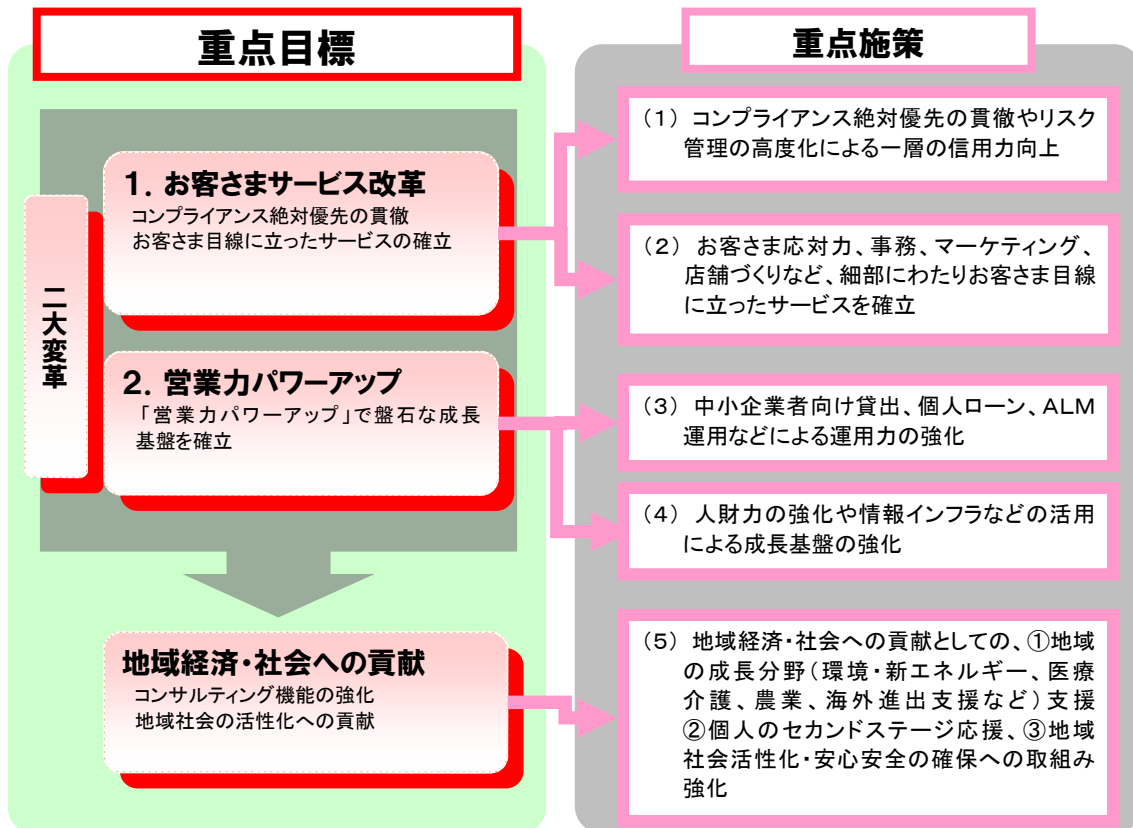
当社は、平成21年4月から3カ年の第2次中期経営計画「トマト MOTTO² プラン」を進め、一定の成果をあげることができました。また、トマト MOTTO² プランの最終年度にあたる今年度には記念すべき創立80周年を迎えることができました。平成24年度は、80年の歴史と伝統を礎に、次の大きな節目である100周年にむけての新たなスタートの年となります。このような年に第3次中期経営計画「トマト MOTTO³ プラン」を策定し、新たな歴史の一步を力強く踏み出すものです。



<p>MOTTOとは、 「お客さまにとってもっと便利で、もっと満足度が高く、当社が日々着実な努力を重ねることで、「もっと企業価値の向上を図る」という当社の目標を、社名であるTOMATOの一部文字を並び替えることによって表現したものです。</p>	<p>MOTTO²とは、 第2次中期経営計画では、MOTTOプランを継承するとともに、創立80周年を迎え、MOTTO身近でお客さまに信頼され選ばれ続ける「じぎん(地元の銀行)」を目指そうという思いを「MOTTO²」と表現いたしました。</p>	<p>MOTTO³とは 第3次中期経営計画では、MOTTOプラン、MOTTO²プランを継承するとともに、さらに変革を進め、地域でMOTTOも身近で信頼され選ばれ続ける「じぎん(地元の銀行)」を目指そうという思いをMOTTO³と表現いたしました。</p>
---	--	--

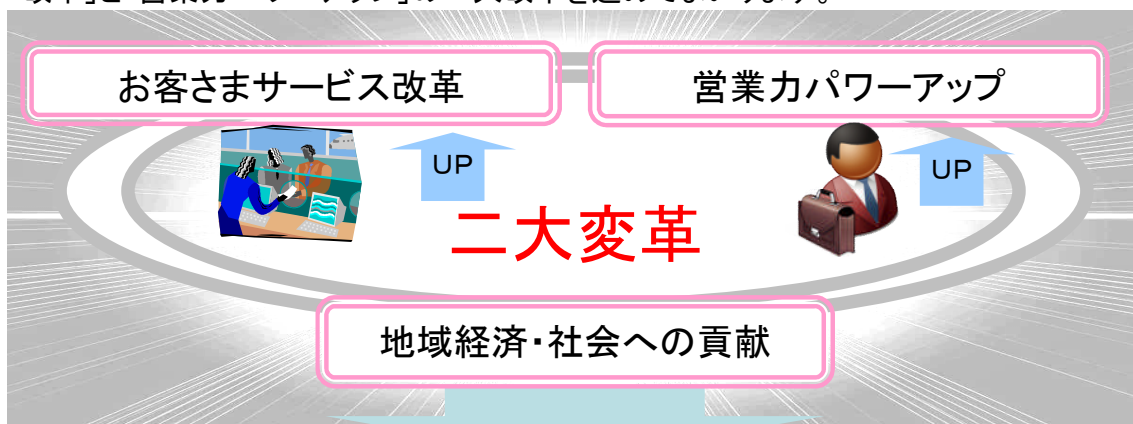
3. 重点目標・重点施策について

第3次中期経営計画「トマト MOTTO³ プラン」では、「お客さまサービス改革」、「営業力パワーアップ」の『**二大変革**』と、『**地域経済・社会への貢献**』を重点目標とし、これらをふまえた5つの重点施策の遂行により、地域の皆さまにとって MOTTO も身近で信頼され選ばれ続ける「じぎん(地元の銀行)」を目指してまいります。



4. 「二大変革」について

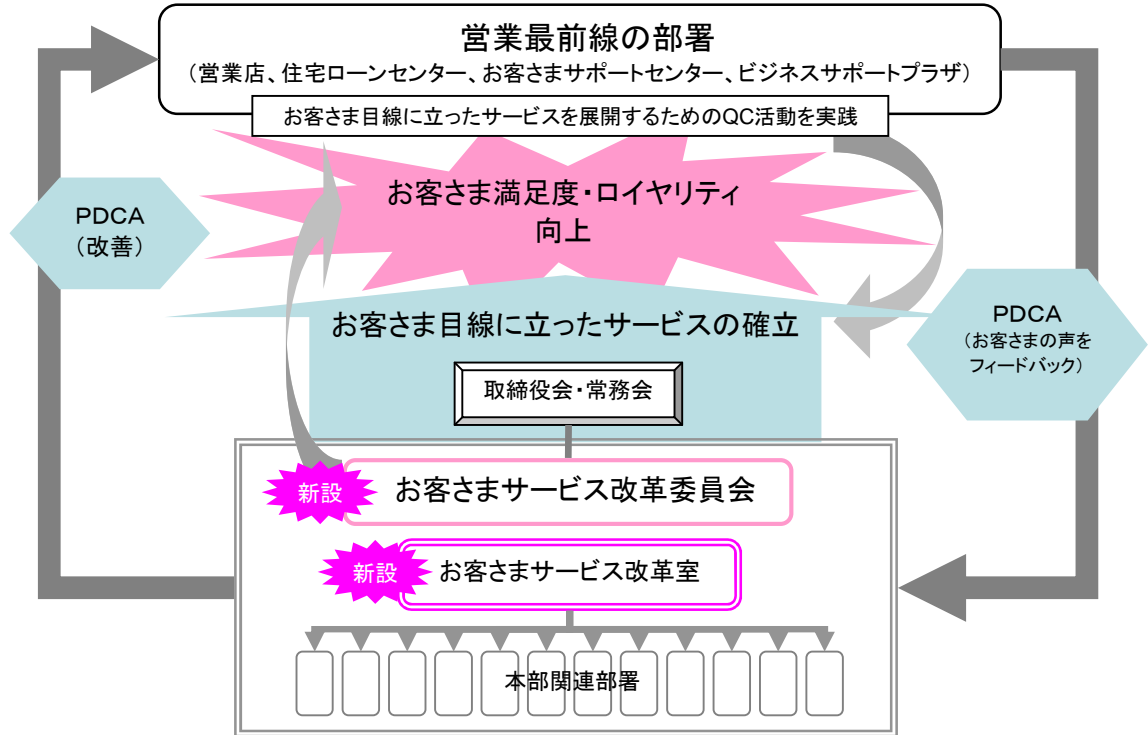
トマト MOTTO³ プランの3か年で「変革」を成し遂げ、経営基盤の強化を図り、次の成長につなげてまいりたいと考えております。その変革として以下の「お客さまサービス改革」と「営業力パワーアップ」の二大改革を進めてまいります。



MOTTOも身近で信頼され選ばれ続ける「じぎん(地元の銀行)」へ

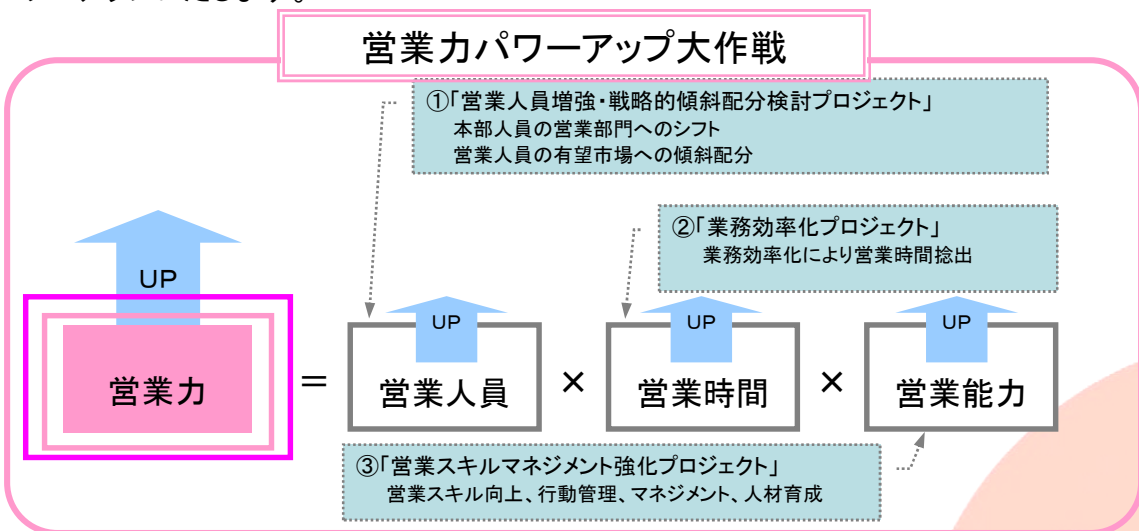
(1) お客さまサービス改革

コンプライアンス絶対優先を貫徹するとともに、お客さま目線に立ったサービスの確立にむけて、「お客さまサービス改革室」および、「お客さまサービス改革委員会」を新設し、お客さま対応力の向上、お客さまの目線に立った事務手続きの見直し、マーケティング、店舗づくりなど、お客さまサービスの細部にわたる改革を進めることでお客さま満足度・ロイヤリティの向上を図ってまいります。



(2) 営業力パワーアップ

営業力をパワーアップするため、以下の「営業力パワーアップ大作戦」に取り組めます。営業力パワーアップ大作戦では、①～③の三つのプロジェクトを進め、営業力のプロセス指標である「営業人員」、「営業時間」、「営業能力」のそれぞれをアップし、営業力をパワーアップいたします。



5. トマト MOTTO³ プランの遂行による当社の変革・成長ストーリー

(1) 盤石な経営基盤を確立

「二大変革」と5つの重点施策に取組み、成長に向けての盤石な経営基盤を確立します。

(2) お客さま満足度ナンバーワンに

コンプライアンス絶対優先貫徹のもと、『二大変革』の「お客さまサービス改革」により、お客さま満足度地域ナンバーワンを目指します。

(3) 安定的な収益基盤を確立

積極的に預金を受け入れることで調達基盤の安定を図り、『二大変革』の「営業力パワーアップ」により、①顧客基盤の拡大による中小企業者向け貸出、②個人ローン、③預貸ギャップに対応したALM運用、④有価証券運用、の4つの運用力をアップします。また、預り資産販売やコンサルティング機能の強化、新たな手数料収益の獲得などでの収益の多様化により、安定的な収益基盤を確立します。

(4) 地域で MOTTO も身近で選ばれ続ける「じぎん」へ

『二大変革』と『地域経済・社会への貢献』の重点目標のもと、5つの重点施策の遂行により、地域で MOTTO も身近で選ばれ続ける「じぎん」となります。

※ 目標とする経営指標の数値は、平成23年度決算発表にあわせて平成24年5月に公表する予定です。

以 上